

張梨香さんが地域おこし協力隊に着任



6月1日、町の地域おこし協力隊に張梨香さん（東京都出身・30歳）が着任しました。

張さんは、町まちづくり課が担当するコミュニティ生活圏形成事業や関係人口創出事業を主な仕事とし、地域住民が主体となって行う地域活動の支援や、自らの定住に向けた起業などの準備活動に取り組んでいきます。

◆皆が生き生きと過ごせるまちづくりに挑戦!

初めまして、「ちゃんりか」です！ぜひ名前を呼んで声をかけて頂けたら嬉しいです！空の広さと自然の豊かさ、優しい人々に惹かれ五城目町に移住を決めました。

高齢化が進む町はマイナスと捉えられがちですが、だからこそたくさんの知恵

と財産が詰まった町だと思います。その知恵に私自身もこれまでたくさん助けていただきました。

協力隊の活動を通し、町に住む人、町と関わる人々が、それぞれの良さを生かして生き生きと過ごしていけるような、より明るいまちづくりに努めていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします！

地域おこし協力隊

張 梨香さん(古川町在住)

プロフィール

平成元年（1989年）生まれ、東京都世田谷区出身。大学で教育学を専攻したのち、モンテッソーリ教育を行う私立幼稚園にて5年間勤務、その後は新規事業の立ち上げ支援を行うコンサルティング会社にて3年勤務。

約5年前、夫の仕事をきっかけで五城目町を訪れ、以後長期休みのたびに訪れる。



伊藤信子さんが集落支援員に着任



6月1日、町の集落支援員に伊藤信子さん（町村・65歳）が着任しました。

伊藤さんは、町まちづくり課が担当するコミュニティ生活圏形成事業を主な仕事とし、馬場目地区で取り組みを検討している生活の足の確保、農業関連団体の連携、地域資源の特産品化や地域食堂の開店などについて、地域住民との話し合いや活動を支援していきます。

◆住民主体の地域づくりをサポート!

集落支援員として活動する伊藤です。生まれ育った地域の活性化に役立てるよう、楽しみながらも責任感を持って頑張っていきます。

「活性化とは何か」とよく考えることがありますが、私は、その地域に住む1人ひとりが持つ力を発揮し、皆さんが生

き生きと過ごせるような環境を作っていくことだと思っています。馬場目地区には農家さんや農産物を生かせる知識を持った方がたくさんいるので、まずはそういった方同士が知恵を出し合えるようお手伝いをしていきます。

1人でも多くの方からのアイデアをお待ちしていますので、お気軽にお声がけください！

集落支援員

伊藤 信子さん(町村在住)

プロフィール

昭和30年（1955年）生まれ。

秋田厚生連で長年勤務し、退職後の現在は、JAあきた湖東の理事を務める傍ら、町と馬場目地区の婦人会、コールもりやまなどに所属し、幅広く活動。

仙台市で飲食店を営む長男には、山菜や自家製の野菜など、地元産の食材を提供。



五 委員会活動で収集したプルタブをもとに小ボランティア委員会が血压計を寄贈

5月27日、五城目小学校ボランティア委員会の皆さんが、収集したプルタブをもとに購入した血压計1台を、町社会福祉協議会（一関敏弘会長）へ寄贈しました。

プルタブの収集は同委員会と全校児童、地域の方々が協力して行い、平成29年からの3年間で25.1kgが集まりました。同委員会委員長の□□□□さん（6年・新畑町）は「お年寄りの方の健康づくりに役立てられればと思い、血压計を贈りました。たくさん使って、皆さんに喜んでもらえたら嬉しいです」と話していました。



校長室で行われた贈呈式には、ボランティア委員会の皆さんが参加。血压計は、□□□□さんが一関さんへ手渡しました。



きれいな花を咲かせ、五小を笑顔あふれる学校にしようと願いを込めながら、協力し合ってペゴニアの苗を植えました。

五 咲かせよう思いやりの花 小で「人権の花」植栽活動

6月12日、五城目小学校で「人権の花」植栽活動が行われました。

人権の花運動は、協力しながら花を育てることで人を思いやる大切さを身に付けてもらおうと、全国で実施されています。

植栽活動は、新型コロナウイルス感染症対策として、参加児童を従来の全校児童から1年生と6年生のみに限定して実施。児童たちは、それぞれの縦割り班に分かれ、協力し合いながら赤・白・ピンクの3色のペゴニアの苗を植えました。

災害時の石油類燃料供給の協定を締結

6月18日、県石油商業組合南秋支部（荒川誠支部長）と本町が「災害時の石油類燃料の供給」に関する協定を締結しました。

本協定の締結により、大規模災害発生時に県石油商業組合南秋支部の加盟店での町の緊急車両や公用車などの災害対応車両への優先的給油や、災害対策本部を設置する町役場庁舎や避難所など、災害対応における重要な施設への燃料の優先的な供給を受けることが可能になりました。



締結式は町役場で実施。渡邊町長と荒川支部長が協定書を取り交わしました。



豪雨災害時に起こり得ることを想定し、対応方針などを協議しました。

災害対策本部開設・運営訓練を実施

5月26日、県民防災の日に合わせて、町職員による災害対策本部訓練を町役場で実施しました。

今回の災害対策本部訓練では、豪雨災害発生時を想定し、住民などから寄せられた架空の災害情報や問い合わせへの対応を行い、その中で出た課題に対する対応方針などを協議しました。

今後も、様々な訓練を実施しながら、災害発生時の対応力の強化を図っていきます。